

『非住宅の木造・木質化の現状と課題』

(一社)九州木質建物協議会

1. 普及活動の目的

全国各地で木造建築への取組みが広がる中、建築基準や防耐火の見直しが行われ中大規模建築物が建て易くなってきたが、建築士や建築関連事業者の多くが木造住宅レベルの知識・情報しか持ち合わせておらず、この事が新たな分野での木造建築を広めていくためのネックとなっている。これらの課題解決と普及を図るために、より高度な木造建築技術情報を習得することを目的とした専門性の高い「スキルアップセミナー」を開催し諸課題の解決につなげていきます。

2. 普及活動の内容

開催日：2024年12月3日(火) 13:00 ~ 17:00

場所：天神チクモクビル

福岡市中央区天神3丁目10-27(オンライン同時開催)

講師：(株)ウッディファーム 坂田雅孝氏

『木造建築物に未来はあるか?』

講師：(株)スクリムテックジャパン 河野泰之氏

『GIR 接合のこれまでとこれから』

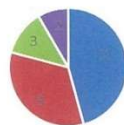
3. 参加状況

	申込	当日参加	割合
リアル参加	29	20	69.0%
ZOOM参加	41	36	87.8%
合計	70	56	80.0%

4. アンケート結果

Q1. このセミナーが開催されることをなにかから知りましたか？

木質建物協議会	建築士会	事務所協会	その他
11	8	3	2

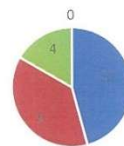


■ 木質建物協議会
■ 建築士会
■ 事務所協会
■ その他

その他: 知人、中大規模木造建築ポータルサイト

Q2. 本日のセミナーはいかがでしたか？

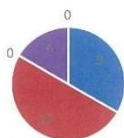
とてもよかった	よかった	普通	よくなかった
11	9	4	0



■ とてもよかった
■ よかった
■ 普通
■ よくなかった

Q3. 本日のセミナーの内容はいかがでしたか？

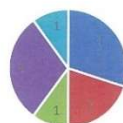
大変わかりやすかった	わかりやすかった	どちらでもない	一顧わかりにくかった	非常にわかりにくかった
8	12	0	4	0



■ 大変わかりやすかった
■ わかりやすかった
■ どちらでもない

Q4. 木造建物を作るにあたり困っていることは何ですか？

構造	防耐火	省エネ	確認申請	その他
3	2	1	3	1



■ 構造
■ 防耐火
■ 省エネ
■ 確認申請
■ その他

その他: 木材のJAS等規格について

Q5. 今後セミナーで取り扱ってほしいテーマは何ですか？

Q6. 中大規模木造建物振興にどんな課題があるでしょうか？
皆様のご意見をお聞かせください。

番号	項目
1	個別案件の具体的な進め方について
2	法改正について
3	ウッディファームさんの前半の木材性能やJAS等規格の取扱いについてもう少し時間をかけて解説して欲しい。今回のレジュメ希望します。
4	大型物件の設計と実物の誤差の取扱い方についてもう少し話を聞きたい。
5	建物の企画から竣工までの木構造に関する動画が分かりやすい
6	接合部設計方法を詳しく取り扱ってほしいです。
7	実際の事例の紹介を詳細に、全体計画・構造計画・設備計画などの事例紹介をお願いしたいです。
8	不具合ディテールと改善ディテール
9	プレカット製材のみによる設計例
10	

番号	項目
1	設計者に専門家が深く関与しないと施工時に解決すべきことになりかねない。設計者の理解を深める必要がまだある。
2	設計の手法、材料の選定、及び、調達
3	言葉より動画で見るとわかりやすい
4	一貫計算プログラムがないので、計算しづらいところだと思います。
5	住宅ではなく、非住宅の木造に取り組む設計者層を厚くすること。
6	実際の構造計画の考え方や進め方
7	流通の問題
8	CLT, LVLなどの価格低下。法的規制の緩和（例えば内装制限）。不燃・準不燃構造用木材の開発。
9	一貫計算ソフトの開発普及
10	

5. 当日の講演内容

講師：坂田氏 → <https://www.youtube.com/watch?v=VInT5GIpTvw&t=1s>

講師：河野氏 → <https://www.youtube.com/watch?v=UOV1IDP5Cjk>

6. 今回の成果

今回は、熊本にて木造設計アドバイザーをされている坂田氏と GIR 工法を実践されている河野氏の講演で、中大規模木造建築物づくりの数多くの実績のある2名の方にお話しをいただいた。セミナーは12月3日という師走に入っておこなったため、いつも開催しているセミナーよりもキャンセル率が高く、実際の参加者が少なかったのは残念な結果となった。ただ、アンケート Q2, Q3 でもわかるように実際に参加した方の評価は高かった。また、アンケート Q4 では、木造建物を建てるにあたり困っていることは、構造、防耐火、省エネ、確認申請のことなど満遍なく興味があることが分かった。アンケート Q5.3 にもあるように坂田氏の講演内容は、木材の性能、JAS 製材規格、木造建物づくりに関してなど、多岐にわたっていたため、今回の講演時間では短く、もう少し時間を取るか、何回かに分けて、じっくり詳しく解説いただいた方がよかったと反省している。4月には、建築基準法の改正があり、木造建物を取り巻く環境が大きく変化する可能性がある。今後とも森林と都市のいい循環を図れるよう、木造建物づくりの普及拡大を実践するためにも継続して活動していきたい。

以上の活動は（公財）建築技術普及センターの2024年度の助成を受けて実施しました。ここに感謝申し上げます。